

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障害
のある人やひきこもり
者などの多くがもって
いる優れた感性と表

現力、そこから湧き出る独創的なアート
作品に対して、NPO 法人 障害者芸術
推進研究機構（天才アート KYOTO）
が独自にネーミングしたものです。当
機構は天才アートを推進し、その啓発・
普及活動を積極的に行っています。



発行日 2025年9月22日（月）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

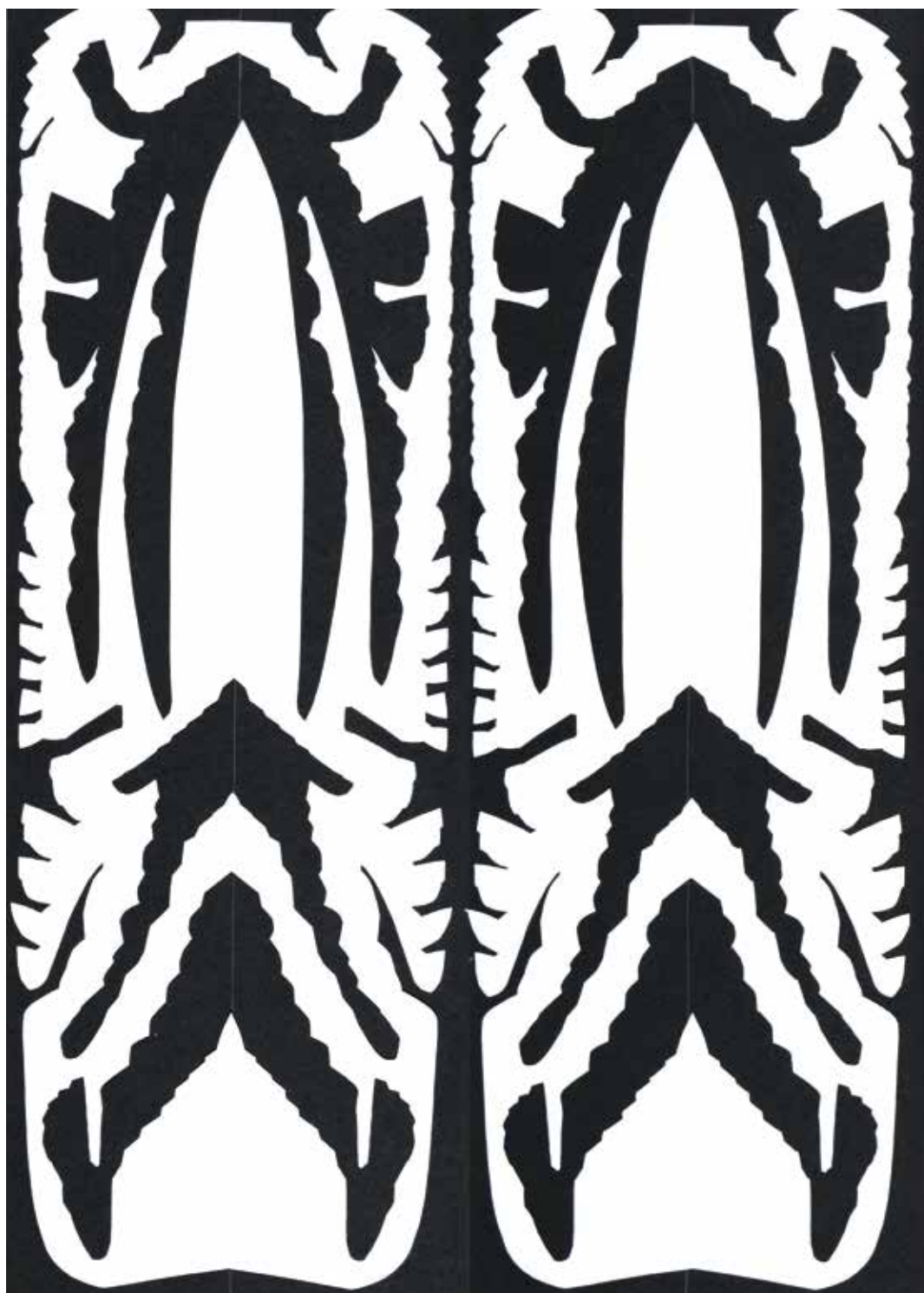
天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226
京都市北区紫野西舟岡町2番地
ふれあい共生館「きたアトリエ」
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto

編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



小寺 菜月『トナカイさんの木』 コピー用紙（台紙：黒色紙）、100×287mm、2025 年制作

展 覧 会

予 告

市立芸術大学の学園祭によせて
天才アート-NO ART NO LIFE-展
 を初開催します！

昨年30周年を迎えた世界人権問題研究センター（世人研）とは、この十年余、センター通信の表紙を天才アートKYOTOの作品が毎号飾ってきました。そんなご縁のもと、オフィスの京都市立芸術大学キャンパスへの移転を機に同センターが本年から新たに進める「ふらっとプロジェクト」の第5回「障害者と人権」と協働：市立芸術大学の学園祭（11月1日～3日）をコア会期に設定して初開催の運びとなりました。

アートの世界に身をおく芸術系大学生のみなさんにも、障害者アートに出会いそして感じてもらうミッションとしたいと願っています。

秋天一日……ご来場お待ちしております。
 会期：'25年10月24日（金）～11月6日（木）
 9～17時 無休 ※最終日15時まで
 会場：世界人権問題研究センター
 （京都市立芸術大学A棟7階）

観覧：無料・自由観覧



センター通信「グローブ」



作品等…主にポスターパネルにて展覧＋

大阪・関西万博で披露した作家紹介ビデオの再映・リーフレットの配架等
 催事：京都市立芸術大学の学園祭（11月1～3日）に併せて

○講演会：'25年11月2日（日）14時～15時30分
 60名・無料（先着順／事前申込）

※世人研 075-585-5897

『対話』を通して誰も取り残されない社会へ！

松波めぐみ 研究員（大阪公立大学ア
 クセシビリティセンター 特任准教授）

「天才アート-NO ART NO LIFE-」

※作品解説含む

雨宮章（天才アートKYOTO副理事長）

○ギャラリートツア（作品解説）

雨宮章（天才アートKYOTO副理事長）

'25年11月1日（土）および3日（祝）

11時～11時30分（事前申込不要）

今年度も開催します・第9回
公共空間にアートの彩り！展

本展は京都市などとの連携により、暗く殺風景になりがちな公共地下道などの空間に、当機構の作品アーカイブデータから作成したB1サイズのパネルを多数展示し、「アートの彩り」で明るく和みのある空間を創り出す取り組みです。

今年度も、年末年始という一年で最も人通りの多い時期の2カ月間にわたって展示します。多くの方々にご覧いただけることを期待しています。



昨年度の「第8回公共空間にアートの彩り！展」の展示風景

会期 '25年11月15日（土）～'26年1月16日（金）
 会場 四条通地下道（下京区麩屋町通付近）
 （富小路通付近の間）

主催 NPO法人障害者芸術推進研究機構

協力 京都市歩くまち京都推進室・

阪急電鉄（株）

助成（公財）京都オムロン地域協力基金

GRID KYOTO ～京都まちの文化祭～に出展

京都市では、「地域コミュニティHub」を設置し、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できるウェルビーイングなまちの実現に向けて取り組んでいます。

その一環として、GRID（基盤目）を交わりに見立て、まちづくりをはじめさまざまな活動に取り組みプレイヤーや市民が交流し、つながる起点となる祭典「GRID KYOTO ～京都まちの文化祭～」が開催され、天才アートKYOTOも出展します。

日時：'25年11月15日（土）11時～16時

場所：京都市役所庁舎前広場およびゼスト

御池地下街（※天才アートKYOTOはゼスト御池地下街の予定です）



展 覧 会

報 告

第3回日本国際芸術祭 天才アートEXPO展は 好評のうちに閉幕

●3000人を超える入場者

第3回日本国際芸術祭／大阪・関西万博
展は、EXPOメッセのWASSE会場で、'25
年7月2日（水）～6日（日）の5日間、
産学公55団体の参加で開催されました。天
才アートのブースへの来場者は、7月2
日…593人、3日…1101人、4日…
747人、5日…537人、6日…207
人と合計3185人でした。

WASSE会場全体の入場者が5万人超で
あったのに対し、来場者が少ないように感
じますが、通路から作品を覗いていた方もた
くさんおられたことを考えると、実際には



EXPOメッセのWASSE会場

数字を遥かに超える来場者がおられたと思
います。

●注目を集めた作品

作品の中で一番注目を集めたのが石原寛
子さんの『増殖』で、さまざまな角度から
作品をご覧になれば、「どのようにして制
作してるのか」「どのように制作のモチベ
ーションを保っているのか」などの質問が寄
せられました。

また、三津田一輝さんの『風神雷神』は、
斜め向かいに建仁寺さんの『風神雷神図屏
風』の複製品が展示されていたこともあつ



天才アートEXPO展の展示ブース

て、対比してご覧になる方が多くおられ、
「面白いですね」という声が多く寄せられ
ました。

さらに人気があつたのが木下アラン海さ
んの作品で、クレパスの発色のきれいに
驚いておられる方がおられました。

そのほか、アーカイブデータがある登録
作家全員の作品を5枚のB1サイズのパネ
ルにし、制作風景のスライド映像と合わせ
て展示しましたが、熱心に観ている方がた
くさんおられました。

●イベント会場とギャラリーの違い

今回の展示では、ギャラリーと同様に
スペースを広く取ってじっくり観ていただ
くことを念頭に会場構成をしましたが、あ
のようなイベント会場では、もっと派手に、
壁面を一杯使った展示の方が注目度が高



たくさんの来場者で賑わった天才アートEXPO展の展示ブース

いのかもれません。

また、来場者の中で作家さんの年齢を聞
かれる方が多くおられました。これは別の
作品展でもあることですが、作品と作者の
年齢との関わりに興味を持たれ、「こうい
う作品を制作される方は何歳くらいの方な
のか」というのが気になるようです。

●今後の展開に生かせること

アート作品を展示されている他のブー
スの方から、障碍のある・なしに関わらず、
作品と一緒に展示するような機会があれば
協力したいという声がありました。

過去に何度か「共生アート」の考え方に
基づく作品展に協力・参加したことがあり、
来場者からは好評でしたので、共生社会の
実現という観点から、今後実現していけれ
ばと思います。



注目を集めた石原寛子さんの作品『増殖』

TENSAI ART NOTE

天 オ
ア ア
ー ト
ノ ー ト

ゆうだい

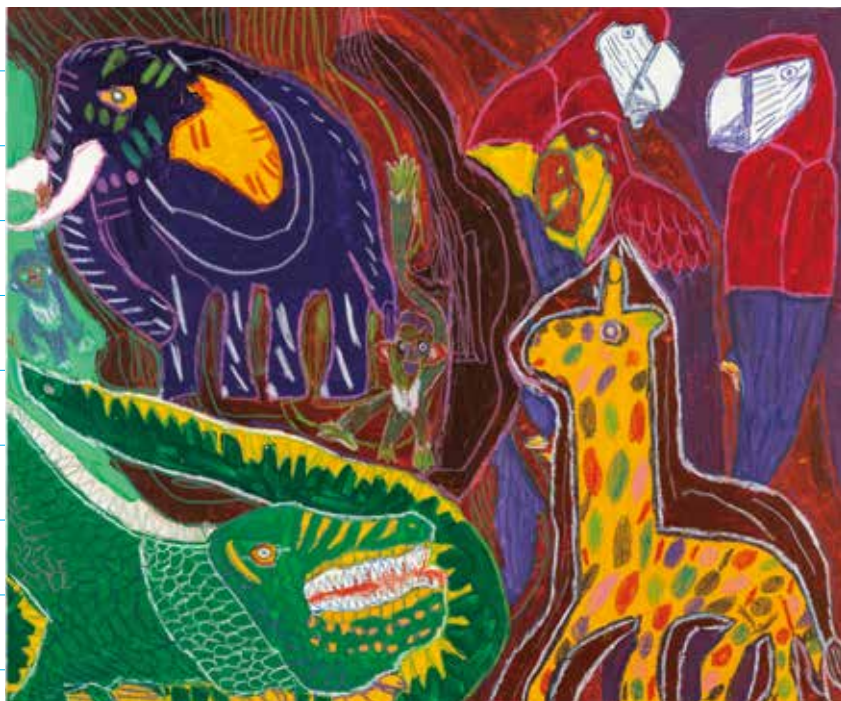
ゆうだい Yudai 1998年生

ゆうだいはアクリルや色鉛筆を用いて風景を描きます。彼の描く絵画はどれも実際に訪れた場所や彼自身の思い出の一部です。自分で撮影した写真を元に描かれていますが、写っていた人物や細部は省略されていたり、逆に雲などのモチーフが加わったりしています。鮮やかな色を用いて描かれた作品は、鑑賞者に写真とは違った印象を与え、どこか白昼夢に誘うようです。

『種子島の岩屋』 キャンバス・アクリル絵の具、W1,000×H803mm、2024年制作



『アカコンゴウインコとヒワユニコンゴウインコとヨウムとタイハクオウムとアオメキバタンとアコーディオンとピアノとギターとバイオリンとトキとカメとゾウと犬とシュリーマン』
キャンバス・ペン・クレパス・アクリル絵の具、W652×H530mm、2024年制作



『動物のにぎわい』 キャンバス・ペン・クレパス・アクリル絵の具、
W727×605mm、2025年制作

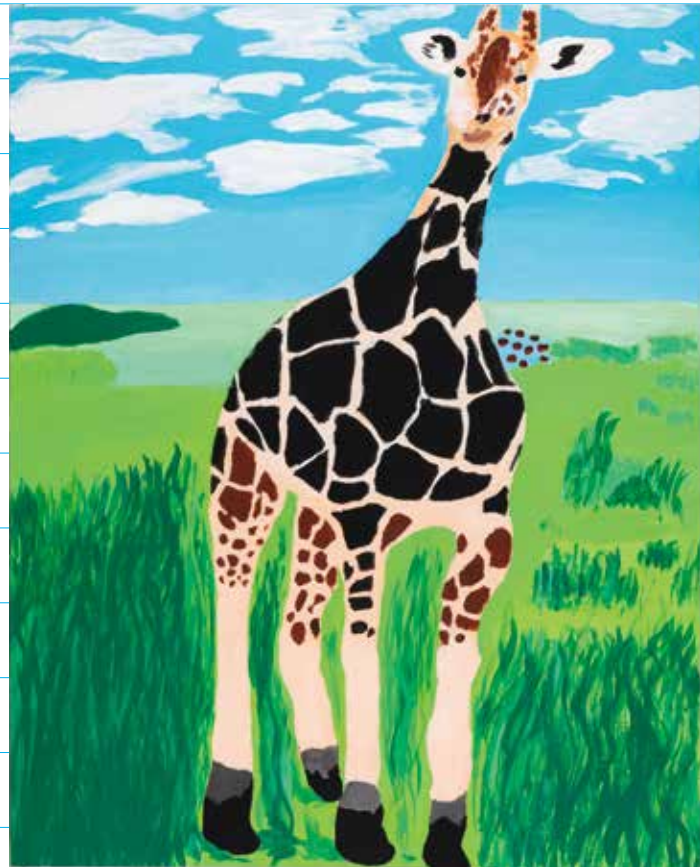
影山 弘樹 Kageyama Hiroki 1991年生

影山は、「歴史上の偉人」「家系図」「結婚式」「儀式を行う擬人化した鳥」など、「関係性」をテーマに描き続けています。そのモチーフはさまざまですが、どれも脈々と受け継がれる「命のつながり」を描いている点で共通しています。「命のつながり」から考えると、今これを読む人の両親には4人の親がいて、さらに遡ると3代前なら8人の親、そこからさらに10代遡ると1,024人とつながる計算になるのです。影山作品は、脈々とつながれてきた、この果てしない「命のつながり」を再認識させてくれるのかもしれません。

影山 弘樹



『えがおのひまわり』 キャンバス・アクリル絵の具、W657×H730mm、2023年制作

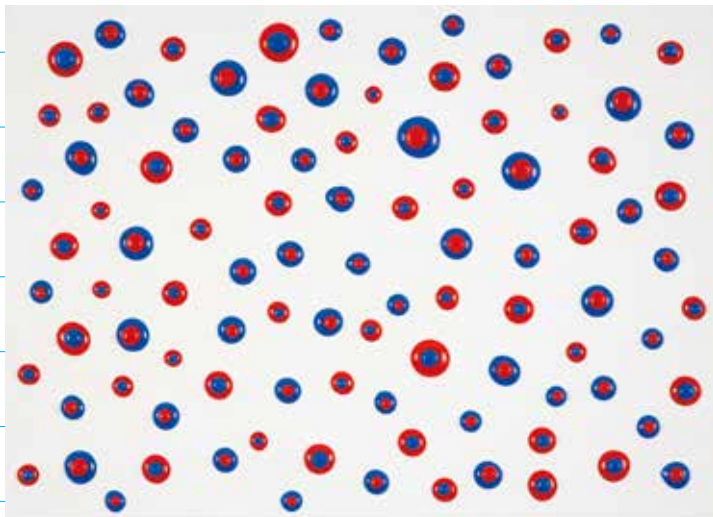


『アフリカの大草原にいる京都市動物園のキリン』 キャンバス・アクリル絵の具、W803×H1,000、2024年制作

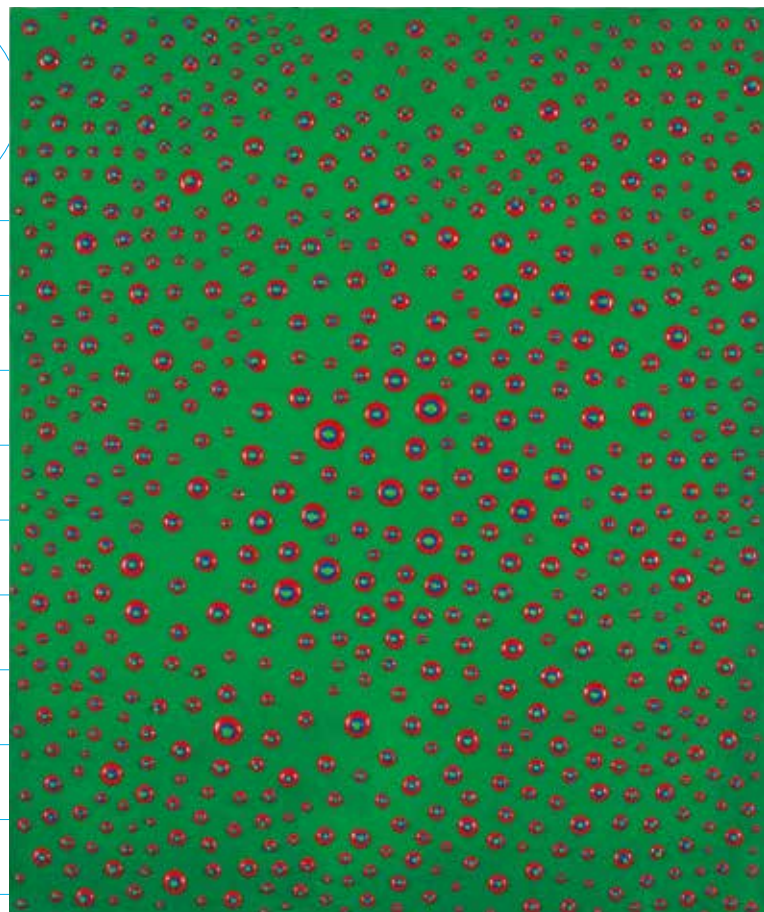
水玉 みり Mizutama Mili 1982年生

1990年代の「カワイイ文化」の濁流の中で育った水玉みりは、自身が描くドットや網目で埋め尽くされた細密画、立体感を持ったドットをしばしば「カワイイ」と言います。彼女のいう「カワイイ」目線で作品を観ると、画面を覆う水玉や文様は決しておどろおどろしいものではなく、実はどこかユーモラスでその愛らしさに気がつきます。彼女の作品を前にした時に感じる「かわいさとグロテスクさ」、その分別不可能な感情こそが、水玉作品の魅力なのかもしれません。

水玉 みり



『によど (2) +』 キャンバス・アクリル絵の具・ジェルメディウム、W333×H242mm、2019年制作



『によど (1)』 キャンバス・アクリル絵の具・ジェルメディウム、W605×H729mm、2019年制作

ご家族さま
より寄稿

「絵を描くことで心が落ち着く」

道家孝子

●生まれてから就学まで

平成13年4月、第二子として出生しました。1歳半健診で呼名への反応が遅いと指摘され、公園へ連れて行っても、他の子と一切関わらず、離れた所で一人遊んでいました。また、多動がひどく全く目が離せませんでした。

3歳の健診で「人とのコミュニケーションが苦手な様なので療育を受けたらどうですか?」と言われました。

幼稚園入園前から就学まで、療育センターでお世話になりました。



京都市動物園の写生大会で入賞



小さい頃から狸が好き

●絵画との出会い

同居していた祖父がテキスタイルデザイナーで、自宅にアトリエがあり、ハイハイしていた頃から壁に模造紙を貼ってもらい、クレヨンでなぐり描きを集中してやっていました。

幼稚園では着席することが難しいなか、お絵描きはしていた様で、「ハサミの使い方がすごく上手です」と言われたことがありました。

小学4年の頃、近所のアトリエ教室へ通い、その後は、東山アトリエスペースへ。そ

幼稚園では、他の園児と遊ぶことなく、1年中裸足で園庭を走り回り、教室に入ることもできず、園の授業には全く参加できませんでした。

そして就学前に、自閉症スペクトラムと診断を受け、小学入学後から育成学級に在籍していました。

東山総合支援学校高等部を卒業後は、菓子製造販売の会社に勤務し、菓子製造を担当しております。



京都市交通局の40周年記念ロゴマーク、佳作



アトリエ教室の展覧会

●得意なこと・好きなこと

得意とすることは、絵画では模写、またDIYも好きです。

狸の絵を描くことが好きです!

最近、カプセルプラレール(がちやがちや)に動力ユニットを付け、Nゲージで動かすことが好きです。

天才アートKYOTOで絵を描く時間は、息子にとって心を落ち着ける居場所となっています。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

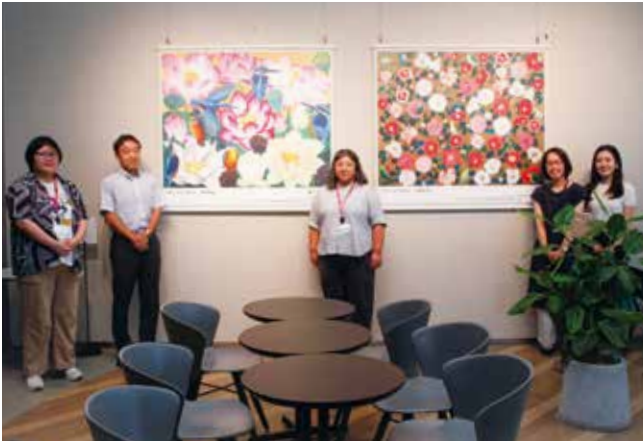


版画

京セラ(株)本社カフェに 色鮮やかなタペストリー

8月28日(木)、京セラ株式会社本社カフェに展示していただいているタペストリー2点の原画を制作した登録作家の大場多知子さんが、京セラから見学に招待されました。

今回タペストリーに採用されたのは、ピンクや白の大きな蓮の花とその空間を飛び交う翡翠を描いた「蓮と翡翠③」(キャンバス・アクリル絵の具、H530×W654mm、'22年制作)とキャンバス・アクリル絵の具、さまざまな種類の椿の花と蜜を吸うメジロを描いた「椿」(キャンバス・アクリル絵の具、H727×W910mm、'19年制作)の2作品。落ち着いた雰囲気のおしゃれでシックな佇



タペストリーを前に写真に収まる大場多知子さん(中央)と担当の皆さん

まいのカフェに色鮮やかな作品が彩りを添え、明るく快活な印象を演出しています。社員の皆さんは、休憩時間にドリンクやカフェメニューを楽しみながらタペストリーを眺めて一息つき、その後の業務にまい進されておられるそうです。

共創アートプロジェクト 京都ふおんと展 in 東山

'25年8月4日(月)～8月29日(金)、東山区総合庁舎にて共創アートプロジェクト「京都ふおんと」展が開催されました。

東山区では、区民の皆さまに人権について理解を深めていただくとともに、人権尊重のまちづくりを推進するため、年間を通じてさまざまな人権啓発事業を実施しています。天才アートKYOTOも過去に何度かポスターパネル展を開催しました。

8月は人権強調月間で、障碍のある方の人権をテーマとするにあたり、障碍のあるアーティストが描いた原画をもとに、フォントやパターンをデータとして作成し、そのデータを企業や個人、自治体等が利用す



会場の様子(写真提供:タカラサライコミュニケーションズ株式会社)

るアートプロジェクト「京都ふおんと」に着目したものです。

この「京都ふおんと」とは、東京都渋谷区から始まった「ご当地フォント」にタカラサライコミュニケーションズ株式会社が参画し、企業のホームページや手ぬぐいなどのデザインにも使われるなど、'23年に事業を立上げてから今年で3年目を迎える、注目の新しい取り組みです。また、データの使用料を障碍のあるアーティストに還元することで、障碍のある方の社会参加を支援し、創作と収入の両立につなげています。

天才アートKYOTOからは、足立茉莉さん、佐野靖文さん、高畠晃平さん、知原諒汰さん、水玉みりさんの5人の作品が採用されています。会場には市民や観光客が訪れ、興味深くパネルに見入っていました。

会期: '25年8月4日(月)～8月29日(金)
9時～17時 ※土日、祝日は閉館
会場: 東山区総合庁舎 北館1階展示ホール



革新の分岐点

muratec

これまでの技術でつくるか、
これからの技術をつくるか。

村田機械株式会社

本社/京都市伏見区竹田向代町136
<https://www.muratec.jp>

▶ロジスティクスシステム
 ▶繊維機械
 ▶工作機械

▶ファクトリーオートメーション
 ▶シートメタル加工機
 ▶デジタル複合機/情報機器

▶半導体工場FAシステム
 ▶生産管理システム

天才アートKYOTOの YouTubeチャンネル紹介

YouTubeは、Googleが提供する世界最大の動画共有プラットフォームで、当機構の活動にも利用しているほか、外部の団体からも投稿していただいています。
ここでは、そのいくつかを紹介いたしますので、ぜひご覧くださる。

●笑顔あふれる仲間たち

さまざまな方向から「笑顔になるため」を応援しているNPO団体。代表のkaz・龍野さんと副代表の古川晋也さんがゲストを迎えてランダムに選ばれたひとつのお題について雑談をかわすコンテンツ。アシスタントに菜緒さん。



笑顔あふれる仲間たち

第拾六回 (16) that's談 (Genius)

角谷 和好 元氣をくれる天才たち

<https://www.youtube.com/watch?v=RkYDne3MAI>



●一般財団法人NISSHA財団AMeet

当機構を支援していただいている一般財団法人NISSHA財団が運営されている「AMeet」チャンネルでは、美術家、音楽家など、アーティスト（表現することを生業としている人）を紹介。当機構も元副理事長の重光豊さん、登録作家の大多多知子さんの動画が収録されています。

天才アートってなんですか？

重光豊さんに聞いてみた

https://www.youtube.com/watch?v=AnCzmM3Z_k



「天才アートKYOTO」の活動について 重光豊さん

<https://www.youtube.com/watch?v=06HT7-Hc0Dg&t=10s>



大多多知子さんインタビュー

<https://www.youtube.com/watch?v=qNv6vRn-9yo>

大多多知子さんが「自身『洛中洛外電子図』についてや「制作すること」などについてお話されています。



●YouTube

天才アートKYOTO

チャンネル

石原寛子 / shihara Hiroko 制作風景

<https://www.youtube.com/watch?v=lv2jMP84-E>



富田晃生 / Tomita Akio

制作風景

<https://www.youtube.com/watch?v=dektop8v-n5Jk5Bq4BNY>



前田渉 / Maeda Wataru

制作風景

<https://www.youtube.com/watch?v=Opem9dFTMA>



天才アートKYOTO (NPO法人

障害者芸術推進研究機構) の紹介

<https://www.youtube.com/watch?v=gUJHqxbu84&t=11s>



天才アート・ライブ展 高瀬川四季 AIR

ライブ映像配信のお知らせ

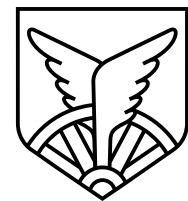
<https://www.youtube.com/watch?v=7HGexIOJYY>



＜編集後記＞

大阪エリアで初めての作品展である「天才アート EXPO展」は、大阪・関西万博をメイン会場にした「第3回日本国際芸術祭」に参加して実施しました。期間は4日と半日間と短期間でしたが、3千人を超える多くのお客様にご覧いただくことができました。この場をお借りして、貴重な場を提供していただいた（社）夢洲新産業・都市創造機構に心から御礼を申し上げます。
この経験を次に活かし、多くの皆さまに天才アートKYOTOの活動を観て、感じていただける機会を積極的に増やしていきたいと思えます。

HAGURUMA



【表紙の作品について】

小寺の作品には今回の表紙のような紙をハサミで切った左右対称の切り絵と、アールカイブで見られるうさぎやライオンなど細い線で可愛く描かれたキャラクターの絵の二つのシリーズがあります。異なる二つのシリーズは「一見すると同一作家の作品ではないか」のよちに思えますが、この作品も実は小寺目線からみた「可愛い」を共通点に作られており、ユーモラスで人懐っこさがあります。

特に切り絵作品は、動物の頭部などが複数重なった複雑な形状になって進化を続けていて、気に入ったモノを組み合わせさせて切り取るのです。



小寺 菜月「トナカイさんの木」
コピー用紙（台紙：黒色紙）、
100×287mm、2025 年制作

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします
総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ
☎ 075-353-2522

京都上鳥羽
の
印刷会社

MORI
(有)森田美術印刷

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131

妙心寺 塔頭

養徳院

永代供養のお寺 075-461-2898



吉村建設工業 (株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

SCREEN

一般財団法人

NISSHA財団

いのちを見つめ、人間を支える。



洛和会
ヘルスケアシステム®